



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 54

R2.2.26

今月のキーワード

パフォーマンス課題

Small Talk の充実

いよいよ4月から、小学校5・6年生で、「外国語科」(教科)が始まります(目標:コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成)。これまで小学校外国語活動で培った「聞く」「話す」を中心とした音声面での素地を生かし、実際のコミュニケーションの場面で自分の気持ちや考えなどを伝え合うことができる力を、小・中学校を通じた学びの中で育てていきましょう。

パフォーマンス課題の実践に向けて

今回の改訂の大きな特徴として、コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて、情報のやり取りを行う相手(他者)意識をもったコミュニケーション活動を位置付ける重要性が示されました。既に使用している教材『Let's Try!』では、ペアやグループでのやり取りをするなどの活動、『We can!』では、多くの聴衆を前に自分の町のよさや自分の夢などについて、ポスターやメモをもとにスピーチをする「パフォーマンス課題」が位置付けられています。このような課題を通して、自分の発信する内容を考えたり、表現の仕方を考えて判断したりする力を育むことが求められています。(思考力・判断力・表現力の育成)

パフォーマンス課題を実践する際のポイント

① 目的や相手を具体的に想定する

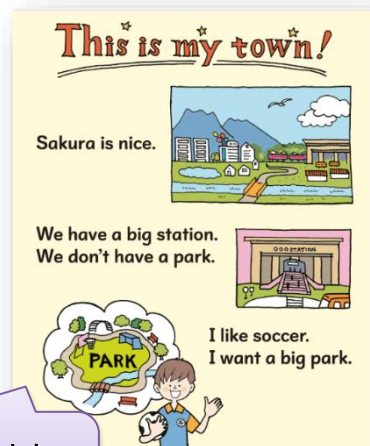
→例: 下野市に新しく来たALTに、自分が伝えたいと考える日本の文化を紹介しよう。

② 必要な知識・技能の反復練習を、学びの過程に位置付ける

→チャンツを取り入れるなどの工夫も考える。単元構成や授業の流れが重要となる。

③ 子どもの多様性を認める(余白を残す)

→型を全て示すのではなく、オリジナリティを発揮できる部分を意図的に残す。



③の例: 自分が伝えたいことを、自由に1文付け加えてみよう。

パフォーマンス課題(発表)のルーブリック 例

ルーブリック: 学習の達成度を測るための評価基準

観点: 「内容」(自分の伝えたい内容を学習した語彙や表現を駆使して使えているか)

「発表」(相手を意識した発話ができているか)



得点	内容	発表	
		流暢さ・文のまとまり	発表の仕方・積極性等
3	町についての説明や感想を伝える形容詞を使って発表できる。単語や文を付け足し、相手の理解を深める発表ができる。	音のつながりやイントネーションを意識し、文の流れを保って話している。相手の理解を確認する表現を加えている。	聞き手の人数や状況に応じて、アイコンタクトやジェスチャーを取り入れて発表ができる。
2	伝えたいものを選び、町についての説明や感想を伝える形容詞を使って発表ができる。	つかえながらも、最後まで話すことができる。文と文の区切りを意識して発表できる。	聞き手に目線を配ったり、ジェスチャーを入れたりして発表ができる。
1	お手本のまま発表する。	途中で止まって、最後まで話すことができない。	聞き手に目線を合わせて発表ができない。

評価の基準は、子どもたちと共有してきましょう。



Small Talk の充実(異文化理解や各教科等との関連を生かして)



Small Talk とは、あるテーマものと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりする活動(文科省『外国語研修ガイドブック』より)です。中学校はもとより、小学校5・6年生においても授業で定期的に取り入れられている活動ですが、より児童生徒の興味関心を高め、広がりのある活動にするために、「異文化理解や各教科等との関連を取り入れた Small Talk」を紹介します。

例①: 色



What's this?



ポスト! でも、英語でもポストって言うのかな?

ポスト, Oh, it's a mailbox. What color?



Red!



Look at this. What's this? Can you guess?



Box? -- ごみばこ?



It's a mailbox too. In America, it's blue.



へえ、どの国も同じ色じゃないんだ!
他の国はどうだろう? 黄色もあるのかな...

例えば、色の学習をする際に、red, blue, yellow...と単語の言い方を確認し、繰り返して言わせるだけでなく、異文化理解の視点から、海外の様々な郵便ポストに目を向けさせうえて、色の学習に入ることが考えられます。特に単元の導入時には、知識を伝えることよりも、興味関心をもたせることを重視しましょう。

例②: 道案内

Let's Listen

道案内を聞いて、どこに行くのかを考えよう。



library



police station



post office



supermarket



fire station



bookstore

Which sign is the post office?

例えば、上記の施設を道案内の地図に描き込む際に、社会科で学習した地図記号を確認することで、教科で学習した内容を復習することができます。



何年生でどのような学習をしているのか、確認しておくことが指導に役立ちます。

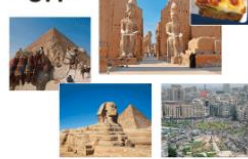
例③: 行きたい国



Let's Watch and Think

映像を見て、インタビューを受ける人物がどのような国に行き、何をしたいのかを考えよう。

Egypt

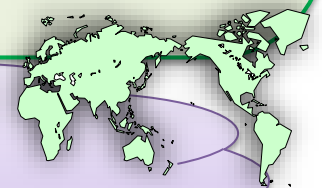


America



"Where is Egypt?"

例えば、エジプトについての紹介文を聞く際に、世界地図で場所を確認します。日本を起点として、up/down/left/right?と質問しながら、位置を確認しましょう。また、国旗を使って色や形の復習をしてはいかがでしょうか。



小学校においては、新学習指導要領の実施に伴い、4月から評価の観点も変わります。市研修会等を通して、共通理解を図っていきたいと思います。よろしくをお願いします。

文責 学校教育課 稲葉亜希恵